

# 荒尾市制施行80周年記念事業 事業報告書

～80年の思いを胸に ずっと守ろう 私たちの荒尾～



■ 記念事業の趣旨と構成	2
■ ロゴマークとキャッチフレーズ	3
■ 記念事業一覧	4
■ 記念事業<市事業>	6
■ 記念事業<冠事業>	20
○冠事業について	
○市主催事業	
○民間事業	
■ 市制施行 80 周年を振り返って	32
■ 記念事業に係る経費支出状況	33
■ 荒尾市制施行 80 周年記念事業プロジェクトチーム	34

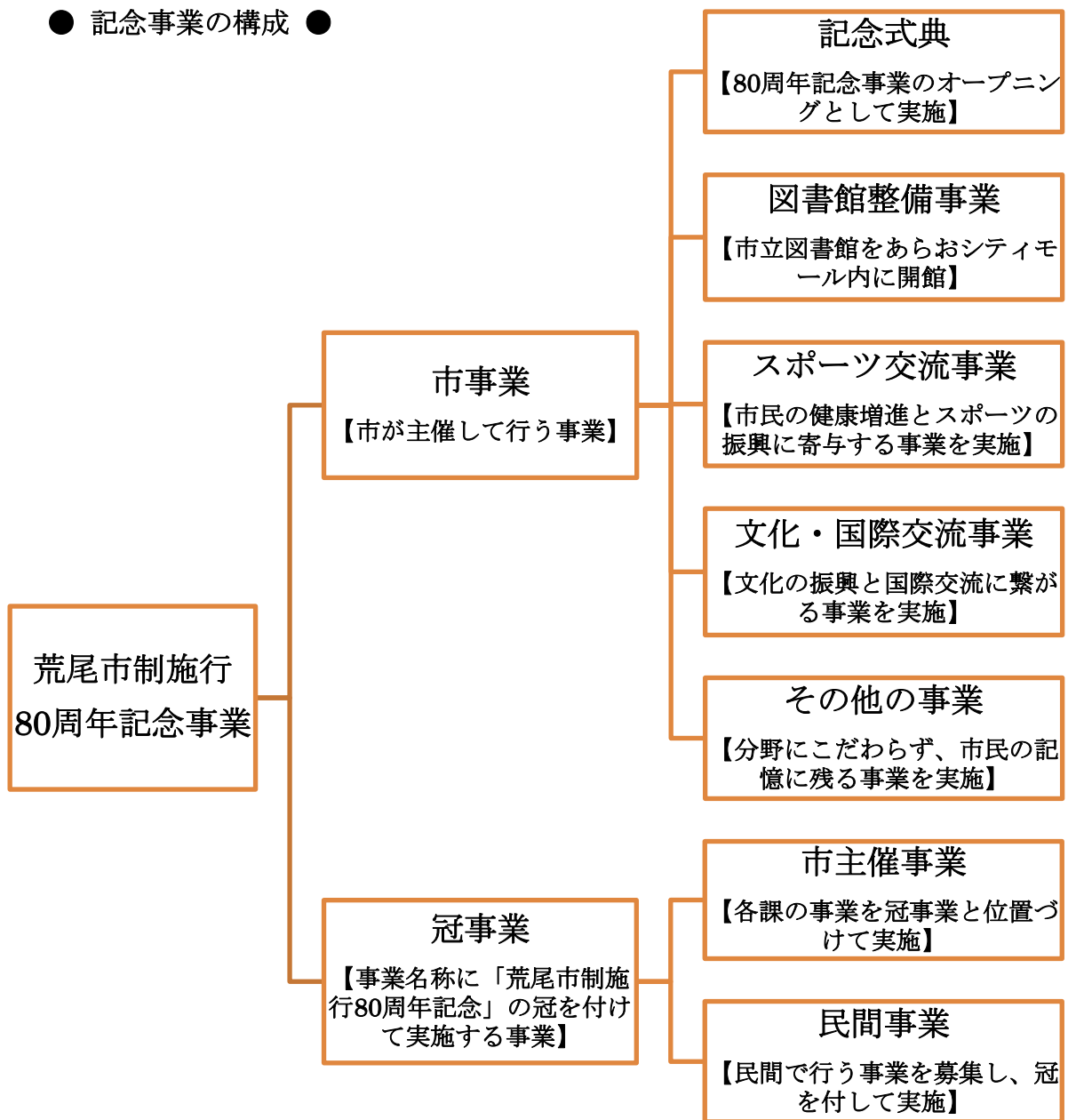
## ● 趣 旨 ●

本市は、昭和 17 年(1942 年)4 月 1 日、荒尾町・平井村・有明村・八幡村及び府本村の 5 つの町村が合併して市制を施行し、昭和 30 年に清里村を一部編入して、令和 4 年 4 月 1 日に 80 周年という節目を迎えました。この記念すべき節目にあたり、先人たちの功績に感謝すると共に、これまでの荒尾市の歴史や文化を踏まえ、未来への飛躍の年となるよう、市民全体で祝う「荒尾市制施行 80 周年記念事業」を実施しました。

## ● 事業実施期間 ●

令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの一年間

## ● 記念事業の構成 ●



80周年記念ロゴマークについては、令和3年7月1日から令和3年7月30日までの間、市内外の全ての方を対象に募集を行い、91件の応募の中から、プロジェクトチームでふさわしいものを選定し、決定しました。

80周年キャッチフレーズについても、令和3年7月21日から令和3年8月31日までの夏休み期間中、市内の中学校に通学する2年生を対象に募集を行い、108件の応募の中から、プロジェクトチームでふさわしいものを選定し、決定しました。

決定されたロゴマークとキャッチフレーズは、各種記念事業及び冠事業、刊行物、広報媒体等で広く活用され、市制施行80周年の一年間を共に歩んでくれました。

### 《市制施行80周年ロゴマーク》

【制作者】 天野 穂積 様（静岡県静岡市）

【作品の説明】 市制施行80周年の「80」をモチーフとし、擬人化しました。また、つなぐ80は無限大もイメージし、将来像である「人がつながり幸せをつくる快適未来都市」を表しています。さらに、市の花「梨の花」を飾り、市の鳥「シロチドリ」を掲げ、荒尾市制施行80周年を発信しています。



### 《市制施行80周年キャッチフレーズ》

【制作者】 三小田 流維 様（荒尾三中）

【作品の説明】 自分達のまちは、自分たちで守ろうという想いが込められています。

「80年の思いを胸に

ずっと守ろう 私たちの荒尾」

## 記念事業一覧

### 【市事業】 13事業

事業の種類	事業名	開催日	会場
記念式典	荒尾市制施行80周年記念式典	4月3日(日)	荒尾総合文化センター
図書館整備事業	新図書館開館	4月1日(金)	荒尾市立図書館
スポーツ交流事業	荒尾市出身トップアスリート交流事業	6月5日(日) 11月5日(土)	荒尾市民体育館
文化・国際交流事業	荒尾市・シンガポール国際交流事業	5月30日(月)～ 7月13日(水)	オンライン
	新図書館開館記念イベント	8月6日(土) 11月19日(土)	荒尾市立図書館
	市制80周年デジタル写真館	令和5年3月～	荒尾市立図書館
その他の事業	景観発見事業～わくわく熱気球体験～	11月20日(日)	あらお海陽スマートタウン
	学校給食試食会	2月16日(木)	荒尾市・長洲町学校給食センター
	オリジナル記念切手販売	令和4年3月～	市内郵便局および 郵便局ネットショップで販売
	記念マイナンバーカードケースの配付	令和4年4月～	市民課窓口で配付
	記念PR看板の設置	令和4年4月～	JR荒尾駅および 荒尾総合文化センターに設置
	出張、私は未来の報道記者	令和4年4月	広報あらおに掲載
	80文字で伝える 荒尾市への感謝の言葉	令和4年8月	市ホームページおよび 広報あらおに掲載

### 【冠事業】 24事業(市主催事業10事業・民間事業14事業)

事業の種類	事業名	開催日	会場
市主催事業	ロアツ熊本交流事業	4月1日(金)～ 12月31日(土)	えがお健康スタジアム 等
	荒尾干潟ラムサール条約登録 10周年記念事業	6月1日(水)～ 7月31日(日)	荒尾干潟・水鳥湿地センター 荒尾総合文化センター
	令和4年度荒尾市みんなでスポーツ	6月12日(日)	荒尾運動公園
	世界遺産検定に挑戦！ーもっと明治日本 の産業革命遺を知ろうー	6月19日(日)～ 10月16日(日)	荒尾市立図書館
	あらお防災フェスタ	8月28日(日)	荒尾総合文化センター
	令和4年度いきいき健康づくり教育講座	10月4日(火)～ 11月22日(火)	荒尾市医師会館
	第17回あらおマジックペタンク大会	11月6日(日)	荒尾運動公園
	荒尾市健康づくり推進員協議会 創立20周年記念事業	11月16日(水)	荒尾総合文化センター
	2022荒尾市人権フェスティバル	11月28日(月)～ 12月3日(土)	ゆめタウンシティモール 荒尾総合文化センター
	スーパーカーマルシェ	12月4日(日)	荒尾総合文化センター

事業の種類	事業名	開催日	会場
民間事業	第11回荒尾オープン 小学生ソフトボール大会	4月9日(土) 10日(日)	荒尾市ソフトボール場
	第22回九州シニアソフトボール 古希荒尾市大会	5月18日(水) 19日(木)	荒尾市ソフトボール場
	第36回荒尾市卓球協会長杯 卓球大会	7月3日(日)	荒尾市民体育館
	第11回荒尾市民体育祭 水泳競技大会	7月10日(日)	荒尾市民プール
	第1回荒尾オープン 中学生女子ソフトボール大会	8月27日(土) 28日(日)	荒尾市ソフトボール場
	第5回シャインマスカット杯 ソフトテニス大会	9月11日(日)	荒尾市庭球場
	第15回音と光の祭典	10月1日(土)	宮崎兄弟生家
	第22回熊本県一般吹奏楽団協会 合同音楽祭	10月16日(日)	荒尾総合文化センター
	荒尾ジャンボ梨争奪友紀杯 ソフトテニス大会	10月16日(日)	荒尾市庭球場
	第10回荒尾市柔道協会 親睦柔道大会	10月16日(日) 23日(日)	荒尾市体育センター
	第16回ニッタク祭 荒尾ラージボール卓球大会	12月3日(土)	荒尾市民体育館
	荒尾市民楽団864! 第10回定期演奏会	12月25日(日)	荒尾総合文化センター
	健康マーじゃん交流大会	1月29日(日)	万田炭鉱館
荒尾市民病院フットサルチーム ユニフォーム作成			

※【冠事業(市主催事業)】第19回マジック釣り大会拡大イベントは、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止。

※【冠事業(市主催事業)】ファミリースポレクあらお' 22は、悪天候のため、中止。

※【冠事業(民間事業)】荒尾市民少林寺拳法大会は、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止。



## ● 荒尾市制施行 80 周年記念式典 ●

- ◆ 開催日 令和4年4月3日（日）
- ◆ 会場 荒尾総合文化センター
- ◆ 来場者数 450名
- ◆ 主催 荒尾市



荒尾市制施行 80 周年記念事業のオープニングとして、記念式典を開催しました。式典には、来賓、荒尾市の発展に貢献された方々など 450 名が出席し、荒尾市の新たな門出を祝いました。式典のオープニングは、荒尾太鼓の勇壮な和太鼓の音色で幕を開け、市政功労者表彰では、5 部門 319 名 21 団体に表彰を行いました。休憩をはさんだ第 2 部では、荒尾市民楽団 864！による演奏が行われ、荒尾市のイメージソング「風が咲かせる希望の街」、「君の瞳に恋してる」、「栄光の架橋」の 3 曲を披露してくれました。高校生による「荒尾市 PR 動画」では、岱志高校と有明高校の生徒達が郷土の魅力を存分に紹介してくれました。エンディングでは、小学生からの「未来へ続くメッセージ」の発表があり、将来への夢や希望を綴った作文に会場全体が温かい雰囲気になれ、式典の幕を閉じました。



## ● 新・荒尾市立図書館開館 ●

- ◆ 開館日 令和4年4月1日（金）
- ◆ 場所 あらおシティーモール（現ゆめタウンシティモール）
- ◆ 来館者数 265,870名（令和4年4月から令和5年2月末まで）
- ◆ 主催 荒尾市生涯学習課

増永にあった旧図書館を移転し、蔵書冊数約10万5千冊、電子書籍約7千タイトル、座席数約250席にてオープンしました。新図書館は、空間を「荒尾干潟」に見立てたデザインで、潮だまりを模した低く曲線的な書架が並び、児童書のコーナーには船をイメージにした書架があります。商業施設内の公立図書館は熊本県内初であり、面積は県内4番目、また、最新のデジタルコンテンツを導入したデジタルライブラリーの整備は、全国初の取組みです。また、郷土の文化や歴史資料の展示をはじめ、楽しみながら本と出会える機能が充実しているほか、多世代が気軽に立ち寄り、交流できるスペースが設けられています。

開館当日には、オープニングセレモニーがあり、浅田市長は、「全世代型、滞在型、未来型を兼ね備え、図書館、書店、カフェが一体となった、市が目指している暮らしたいまちを象徴する拠点施設であり、市民の皆様にも長く愛される図書館となるよう、本のまち、文化のまちを目指すとともに、市の中心拠点である緑ヶ丘地区の活性化にもつなげていきたい。」と挨拶しました。





## ● 荒尾市出身トップアスリート交流事業(バスケットボール教室) ●

- ◆ 開催日 令和4年6月5日(日)
- ◆ 会場 荒尾市民体育館
- ◆ 講師 梅寄 英毅 氏
- ◆ 参加者数 67名(市内の小中学生を対象)
- ◆ 主催 荒尾市生涯学習課



6月5日、荒尾市制施行80周年記念事業として、市内の小中学生を対象にバスケットボール教室を開催しました。女子バスケットボール日本代表コーチや、Bリーグ男子のプロチームのヘッドコーチなどで活躍した、荒尾市出身の梅寄英毅氏を講師に招き、小中学生合わせて67名もの子どもたちが参加。Wリーグ所属チーム「アイシンウイングス」の選手やコーチも訪れ、梅寄氏と共に指導にあたりました。小学生の部では、ドリブル・シュート・ボールハンドリング・ディフェンス・2対2などの基本的なメニューを練習。中学生の部は、小学生とは雰囲気がガラリと変わり、ホワイトボードに動き方を書いて説明し、梅寄氏が自ら実践していました。初めてバスケットボールを触る子や、始めは緊張から積極的に動けない子もいましたが、練習を重ねるごとに動きも活発になり、市民体育館には笑い声や掛け声など楽しそうな声が響き渡りました。梅寄氏は「この教室を通して、もっとバスケットボールに興味を持ってもらえたら嬉しいです。」と話していました。



## ● 荒尾市出身トップアスリート交流事業(車いすラグビー教室) ●

- ◆ 開催日 令和4年11月5日(土)
- ◆ 会場 荒尾市民体育館
- ◆ 講師 乗松 聖矢 氏
- ◆ 参加者数 51名(市内の小学生以上を対象)
- ◆ 主催 荒尾市生涯学習課



11月5日、荒尾市制施行80周年記念事業として、市内の小学生以上を対象に車いすラグビー教室を開催しました。荒尾市出身で、車いすラグビー選手として、2016年と2020年のパラリンピックに2度出場した乗松聖矢選手を講師に招き、小学生から大人まで幅広い年齢層の市民51名が参加しました。当日は、車いすラグビーチームの「福岡ダンデライオン」の選手も訪れ、乗松選手と共に指導に当たりました。参加者は実際の試合に使う車いすに乗って競技を体験。選手同士のタックルの見本を見て、車いすがぶつかり合う音の凄さに驚いたり、タックル練習で勢いよく向かってくる選手に目を背けたりする子もいました。最初は、ほとんどの参加者が車いすの操作に手こずっていましたが、後半になるにつれて慣れてきて、パスも上達。中にはタックルに挑戦する人の姿も見られました。競技の勢いに驚いていた子たちも、その後は笑顔で選手と握手をするなど、楽しく交流することができました。教室を終える頃には、皆さんすっかり競技に魅了され、「もっと試合をしたい!」と多くの声が上がっていました。



## ● 荒尾市・シンガポール国際交流事業 ●

- ◆ 開催日 令和4年5月30日（月）～7月13日（水） 計3日間
- ◆ 会場 オンライン
- ◆ 参加者数 荒尾市の中学生9名、シンガポールの中学生16名
- ◆ 主催 荒尾市文化企画課

荒尾市では、青少年国際交流を目的とする「あらおグローバル人材教育プロジェクト」に取り組んでおり、令和4年度は、荒尾子ども未来基金を活用し、荒尾市の中学生とシンガポールの中学生をオンラインでつなぎ、計3日間の交流を行いました。荒尾とシンガポールの関わりは、平成26年の宮崎兄弟資料館と、シンガポールの孫中山南洋記念館・晩晴園との共同研究から始まりました。1日目は自己紹介として、お互いの家族や学校生活などを話しました。2日目はゲームを通じた交流を行い、親交を深めるとともに、宮崎兄弟や孫文の歴史についても学習しました。3日目は今回の交流の成果として、来年度以降の参加者に使用してもらうピンバッジのデザインを決定しました。採用されたデザインは、熊本、荒尾、シンガポールそれぞれのマスコットキャラクター（くまモン、マジックキー、マーリ）を中心に、背景にはシンガポールのドリアンと蘭、宮崎兄弟生家の梅の花なども描かれ、荒尾とシンガポールの象徴が凝縮された「小さな大使」にふさわしいバッジとなりました。



## ● 新図書館開館記念イベント(原ゆたか氏講演会) ●

- ◆ 開催日 令和4年8月6日(土)
- ◆ 会場 ゆめタウンシティモール
- ◆ 講師 原 ゆたか 氏
- ◆ 参加者数 80名
- ◆ 主催 荒尾市生涯学習課



8月6日(土)、ゆめタウンシティモール2階のシティホールにて、「かいけつゾロリ」シリーズの作家である原ゆたか先生による「お絵かき会」(第1部:子ども向け)、および、「講演会」(第2部:大人向け)が2部構成にて開催されました。原先生は、熊本県出身。作品の絵と文章をいずれも手掛けており、代表作である「かいけつゾロリ」シリーズは、1987年から続く作品で、アニメ化もされており、子育て世帯を中心に人気を博しています。第1部の子ども向けお絵かき会には、市内の小学生約40人が参加。原先生から「かいけつゾロリ」のキャラクターの描き方を教わり、熱心にイラストの制作に取り組んでいました。また、第2部の大人向けの講演会では、中学生以上の約40人が参加。作品にまつわるエピソードなどを楽しく紹介し、会場全体が笑いに包まれました。なお、当日は、原先生によるサイン会も実施されたほか、着ぐるみを着た「ゾロリ」も登場し、盛況のうちに終了しました。



## ● 新図書館開館記念イベント(平野啓一郎氏講演会) ●

- ◆ 開催日 令和4年11月19日(土)
- ◆ 会場 ゆめタウンシティモール
- ◆ 講師 平野 啓一郎 氏
- ◆ 参加者数 80名
- ◆ 主催 荒尾市生涯学習課



11月19日(土)、ゆめタウンシティモール2階のシティホールにて、芥川賞作家の平野啓一郎先生の講演会が開催されました。平野先生は、京都大学法学部在学中に文芸誌「新潮」に投稿した「日蝕」により、平成11年芥川賞を受賞。主な著書には、「決壊」、「ドーン」、「マチネの終わりに」、「ある男」などがあり、各国で翻訳紹介されています。

講演では、不安定で先の見えない現代社会をどう生き抜くかについて、『個人』に代わる『分人』という独自の概念をもとに、アドバイスをされました。

平野先生の小説「ある男」を原作にした映画が、人気俳優の妻夫木聡主演で、講演会前日の18日(金)から、全国公開されたこともあり、当日は県内外から平野先生のファン約80人が訪れました。講演会終了後には、サイン会も行われ、参加者は平野先生と笑顔で言葉を交わしていました。



## ● 市制 80 周年デジタル写真館 ●

荒尾市の風景、モノ、季節の行事など、「未来に残したい荒尾」をテーマに、市内外問わず広くデジタル写真を募集したところ、13 点の応募がありました。これに、荒尾市で所蔵している過去の貴重な写真 37 点を追加し、計 50 点を選定。作品は、荒尾市立図書館のデジタルライブラリー内に掲載し、利用者や買い物客にも好評でした。



● 景観発見事業～わくわく熱気球体験～ ●

- ◆ 開催日 令和4年11月20日(日)
- ◆ 会場 あらお海陽スマートタウン
- ◆ 参加者数 131名(市民限定)
- ◆ 主催 荒尾市都市計画課



「景観発見事業～わくわく熱気球体験～」と題し、通常乗ることのできない熱気球に搭乗し、上空からの景観を楽しんでもらうイベントを市制施行80周年記念事業として企画したものです。会場は、荒尾八景である有明海（雲仙を望む景観）と都市計画課が行っている南新地土地区画整理事業の進捗を合わせて見てもらうため、あらお海陽スマートタウン内の13-1街区で開催しました。参加者の募集を行ったところ、150名の定員に対して、予想をはるかに上回る857名の申込みがあり、抽選で151名を選出しました。熱気球のイベントは天候に左右されるため、当日の天気が大変心配されましたが、快晴無風に恵まれ、無事開催することができました。熱気球は、佐賀県から2基を招致し、間近で準備される気球は一段と大きく、迫力がありました。飛行は、午前7時30分から開始し、参加者は、パイロットから操縦の難しさ等の説明を受け、浮上する際に焚かれるバーナーの音や、激しい炎と熱に大きな歓声を上げていました。熱気球は、約20mの高さまで上昇し、2～3分のフライトではありましたが、思い思いの方角での眺望や写真撮影を楽しまれていました。搭乗までの待ち時間には、あらお海陽スマートタウンの完成図のVR体験やキッチンカーでの飲食もあり、参加者を喜ばせました。



## ● 学校給食試食会 ●

- ◆ 開催日 令和5年2月16日(木)
- ◆ 会場 荒尾市・長洲町学校給食センター
- ◆ 参加者数 40名(市内小中学校のPTA関係者、公募市民)
- ◆ 主催 荒尾市教育振興課



荒尾市と長洲町が共同で建設していた、新学校給食センターが完成し、令和4年9月から稼働を開始しました。新学校給食センターは、両市町の19小中学校の給食を担い、最大で1日6,000食を提供できる能力を有しています。旧施設にはなかった「食物アレルギー対応室」の設置をはじめ、冷却機能設備による冷たい和え物なども提供することができるほか、近年ニーズが高まっている食育の面からも、調理室の見学や地場産品の活用など、地域の食文化を継承できるよう、多様な献立に対応できる施設となっています。また、地震や大雨などの大規模な災害時には、自家発電により、米飯を3日間炊き出しできる機能も備えており、学校給食のみに留まらず、一般市民への食の提供にも寄与します。今回の学校給食試食会では、参加者が2階にある見学室の窓から調理作業を視察。市職員による衛生管理や最新の調理システムの解説を聞きました。当日のメニューは、地元産食材の利用や郷土色を重視したものとなっており、ごはん、牛乳、団子汁、豆腐の田楽風、梨酢あえ、焼きのりを全員で味わいました。





## ● 市制施行 80 周年記念切手の作成 ●

- ◆ 名 称 荒尾市制施行 80 周年記念
- ◆ 切手種類 オリジナルフレーム切手
- ◆ 切手発行 日本郵便株式会社九州支社
- ◆ 販売部数 1,000 部
- ◆ 販売場所 荒尾市内の郵便局（計 9 局）、郵便局のネットショップ
- ◆ 販売期間 令和 4 年 3 月 1 日（火）から販売開始
- ◆ シート構成 1 シート：84 円切手 10 枚
- ◆ 販売単位 シート単位で販売
- ◆ 販売価格 1 シート：1,330 円

荒尾市の象徴的な自然や風景、お祭りなどを題材に、日本郵便株式会社九州支社で記念切手を制作されました。市の名所や文化財など、荒尾らしさが 1 枚に詰まった切手シートです。切手のデザインは、「万田坑」「グリーンランド」「おもやいたクシー」「シロチドリ（市の鳥）」「マジャク（市の魚）」「小岱松（市の木）」「梨の花（市の花）」「水鳥・湿地センター」「有明海の夕陽」「野原八幡宮風流」の 10 種類で、背景の写真は、現在開発が進む「競馬場跡地の空撮写真」です。

3 月 1 日（火）には、荒尾新生郵便局の内田局長をはじめ関係者が来庁され、記念切手の制作報告及び市長への贈呈式を行いました。

また、4 月 3 日（日）の記念式典の際には、ご来賓の方々へ記念品としてお渡しし、荒尾市の魅力を知っていただく一助となりました。



## ● 市制施行 80 周年記念マイナンバーカードケースの作成 ●

- ◆ 配付場所 荒尾市役所 市民課窓口
- ◆ 配付期間 令和 4 年度中
- ◆ 配付部数 2,000 枚（先着順）

市制施行 80 周年記念のロゴマークをプリントしたマイナンバーカードケースを、市民課窓口で限定配付しました。



## ● 市制施行 80 周年記念PR看板の作成 ●

- ◆ 設置場所 JR 荒尾駅駅舎、荒尾総合文化センター駐車場
- ◆ 設置期間 令和 4 年度中

市民の皆様の機運醸成を図ることを目的に、市内の 2 か所に PR 看板を設置しました。



## ● 出張、私は未来の報道記者 ●



- ◆ 開催日 令和4年春
- ◆ 場所 荒尾市内
- ◆ 出演者 川後田区在住 花吉 百合子さん（80歳）  
荒尾第一小学校3年 丸本 直輝さん（8歳）  
八幡小学校3年 坂口 遥花さん（8歳）

市制80周年にちなみ、川後田区在住の花吉さん（80歳）に、市内の小学校に通う子どもたちがインタビューを行いました。インタビューの内容は下記のとおりです。

Q. 子どもの頃の荒尾市はどんなまちでしたか。

A. 小さいときは深瀬に住んでいて、関川には蛍がたくさんいて良いところでした。通っていた第四小学校は、1学年で300人程いました。原万田あったに大きな銭湯がすごく賑わっていて、友達と入ったのは良い思い出です。荒尾市は炭鉱のまちで、万田坑にあった公会堂で学芸会をして、春になると桜が満開になり、よくスケッチをしに行きました。当時は炭鉱列車に無料で乗ることができたので、よく利用していました。グリーンランド付近が丘陵になっていて、ぶどう畑が一面に広がってとても綺麗だったのを感じています。戦後は進駐軍が町中を行進し、国旗がたくさん並んでいて、とても賑わっていました。時にはアメやチョコレートをもらえることも。荒尾市での思い出は、本当に良い思い出ばかりですね。

Q. これまでの暮らしの中で、楽しかったこと、大変だったことは何ですか。

A. 大変だったことはありません。結婚して市内に家を建てましたが、主人の仕事の都合で約30年間は市外に住んでいて、家にはたまに帰る程度でした。それが十数年前に荒尾市に戻ってきて、ホッと心が安らぎました。ふるさとがこんなにもありがたいものなんだと感じ、改めて荒尾市は良いまちだと思いました。

Q. これからどんな荒尾市になって欲しいですか。

A. これまで先人達が築いてきた荒尾市を、これからも良いまちにして欲しい。最後に花吉さんから子どもたちへ、「運動や勉強など、何かを頑張っていると、素晴らしい人生が待っています。元気な子どもたちを見ると私達も力が湧いてくる。子どもたちに負けないよう過ごしていきたいです。」とメッセージをいただきました。



## ● 80 文字で伝える荒尾市への感謝の言葉 ●

荒尾市制施行 80 周年を記念して、市民の皆様には荒尾市にまつわる往時のエピソードや想いを振り返っていただくことを目的に、「80 文字で伝える荒尾市への感謝の言葉」を募集したところ、21 作品の応募がありました。作品は、市ホームページや広報あらおに掲載し、これまでの荒尾市の歩みに想いを寄せるきっかけとなりました。

昭和 39 年までの 20 年間、市電が走り、私の姉が高校への通学で利用していたのを覚えている。あの時の電車の軌道は自転車道になり、今でも通学路として親しまれている。(こっこちゃん)

大きなまーいお風呂 同じお家が並ぶ社宅 お出かけは、ちんちん電車に乗ってお買い物 そんなたくさんの人に守られて、私は今、二児の母となりました この街に、感謝(この街が好き)

私の父は、荒尾市で、40 年ほど小さなレストランを経営していた。たくさんの方が、料理を食べに来ていた。そんな人々の交流が出来たのは荒尾市のおかげである。ありがとう。(ツミヨキ)

生まれも育ちも荒尾。母に手を引かれ市営バスで通った保育園。楽しみだったこくんぞさん…そんな母も本市と同じ 80 歳を迎えた。思い出の詰まった荒尾が大好き♡ありがとう♡(にゃんずママ)

幼い頃に炭坑列車に乗って四ツ山に買い物や遊びに行ったことを思い出します。今では考えられない位のんびりとした時を荒尾で過ごしたことが懐かしく、良き思い出です。(荒尾っ子)

子供が生まれて掲げた鯉のぼり。使わなくなり、箆箆に眠っていたが、岩本橋で息を吹き返した。たくさん鯉のぼりと一緒に悠々と泳ぐ姿は仲間が出来たようで嬉しい。(はらぺこめがね)

荒尾市民病院で生まれて 52 年。今では 3 人の子の母となりました。荒尾市はどんどん子育てしやすい環境に変わりました。伸びゆく我が故郷にたくさん恩返しをします!!(谷本 ひとみ)

幼小期の思い出は炭鉱電車で県境に出掛けたことである。姉妹でかっぱ岩を探すのが唯一の楽しみだった。自然に触れて行くうちに荒尾への郷土愛が芽生え大好きになった。(チャマさん)

生まれ育ち今も住んでいる荒尾。IT 産業の進歩についていけない私ですが、小岱山、梨の花、節頭、干潟、四山神社、荒尾駅、万田坑、子供の頃から変わらない風景に感謝です。(平川 美恵子)

荒尾市と同じ私も八十歳。荒尾市に生まれ、豊かな有明海の海の幸で育ちました。新しい市民病院、道の駅も楽しみです。大きな災害もなく、自然に恵まれた荒尾市に感謝!(北原 峰子)

県堺大綱引きは 2011 年に 21 回で幕を閉じた。花を添えた荒尾高、有明高のプラスバンド、四ツ山婦人部のさのよい踊り等みんな若かった。懸命だった。これからも一致団結。(久間 健一)

ふるさとは遠きにありて思ふもの 遙か仙台の地へ来てしまい、改めて荒尾の人の良さ、歴史・自然の美しさをしみじみと味わっています。齢 90 歳、ただ感謝するのみです。(森島 廣二)

● 冠事業の取扱いについて ●

◆ 目的

令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）に市内で実施するイベント等の事業について、事業名称に「荒尾市制施行80周年記念」の冠を付けることにより、市制施行80周年を市民全体で祝うとともに、市内外のイベント参加者へのPRを図るものである。

◆ 冠の種類

使用する冠の種類は、次のとおりとする。

- ① 荒尾市制施行80周年記念
- ② 《キャッチフレーズ》～80年の思いを胸に ずっと守ろう 私たちの荒尾～
- ③ 《ロゴマーク》

◆ 対象となる事業

- 令和4年度中に実施するイベント等の事業
- 荒尾市制施行80周年記念事業の趣旨にふさわしい事業（80周年のPRに繋がるもの）

◆ 対象とならない事業

- 法令等に違反するもの又はそのおそれがある事業
- 公序良俗に反するもの又はそのおそれがある事業
- 特定の政治、思想、宗教の活動に利用されるおそれがある事業
- 暴力団又はその統制下にある団体との関係がある事業

◆ 冠事業決定までの流れ

<市主催事業>

令和4年度中に実施する各課でのイベント等の事業について、冠事業としてふさわしい事業を選定する。

<民間事業>

- ① 令和4年度中に実施するイベント等の事業について、冠使用の募集を行い、冠使用を希望する団体等に、「荒尾市制施行80周年記念冠使用承認申請書」及び事業の関係書類を提出してもらう。募集は、広報・市ホームページ等で、令和3年12月1日から令和5年2月28日まで、年間を通して行う。
- ② 事務局（総合政策課）にて事業内容を確認し、冠事業として適当と認めたときは申請者へ通知する。

◆ 冠を付することによる特典

- 1. 「荒尾市制施行80周年記念」の冠の使用
- 2. のぼり旗の貸与
- 3. 広報及び市ホームページでの周知・PR

◆ 事務取扱要綱

荒尾市制施行80周年記念の冠使用に関する事務取扱要綱

(目的)

第1条 この要綱は、荒尾市（以下「市」という。）の市制施行80周年記念の冠（以下「冠」という。）及び市制施行80周年記念ロゴマークの使用に関する事務の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(事業の内容)

第2条 市長は、荒尾市の市制施行80周年を記念して、市内を中心に活動する団体・事業所等が行う事業に対し、この要綱の定めるところにより、「荒尾市制施行80周年記念」等の冠の使用を認めるものとする。

(冠の種類)

第3条 冠の種類は、次のとおりとする。

- (1) 荒尾市制施行80周年記念
- (2) キャッチフレーズ ～80年の思いを胸に ずっと守ろう 私たちの荒尾～
- (3) ロゴマーク

(対象事業)

第4条 冠使用の対象となる事業は、次に掲げる事業とする。

- (1) 令和4年4月1日から令和5年3月31日までの期間に実施され、荒尾市制施行80周年記念事業の趣旨（80周年のPRに繋がるもの）にふさわしい事業
- (2) その他市長が特に適当であると認める事業

2 前項の規定に関わらず、次の各号のいずれかに該当すると認められる事業は、対象としない。

- (1) 法令等に違反するもの又はそのおそれがある事業
- (2) 公序良俗に反するもの又はそのおそれがある事業
- (3) 特定の政治、思想、宗教の活動に利用されるおそれがある事業
- (4) 暴力団又はその統制下にある団体との関係がある事業
- (5) その他市長が特に不適当であると認める事業

(使用の申請)

第5条 冠使用の承認を受けようとする者は、荒尾市制施行80周年記念冠使用承認申請書（第1号様式）及び団体に関する調書（第1号様式 別紙）により、その承認を受けなければならない。

<次ページに続く>

**(使用の承認等)**

第6条 市長は、前条の規定による申請があったときは、第4条に規定する対象事業の基準に適合するか否かを審査し、承認又は不承認の決定をするものとする。

2 市長は、前項の規定により、承認の決定をしたときは、荒尾市制施行80周年記念冠使用承認決定通知書(第2号様式)により、不承認の決定をしたときは、荒尾市制施行80周年冠使用不承認決定通知書(第3号様式)により、前条の規定により申請をした者に通知するものとする。

3 冠使用の承認を受けた者は、事業完了後30日以内に、使用状況報告書(第4号様式)により、事業の報告を行う。

**(承認の条件)**

第7条 市長は、前条の規定による承認の決定をするときは、次に掲げる条件を付することができる。

- (1) 市は、事業に要する経費の負担を一切行わないものであること。
- (2) 市は、事業及びこれに伴う行為から生じた損害賠償等の責任を負わないこと。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める事項

**(変更等の届出等)**

第8条 事業の内容、規模、実施場所等、当初の計画から変更を生じた場合は、改めて荒尾市制施行80周年記念冠使用変更承認申請書(第5号様式)により承認を受けなければならない。

**(承認の取消し)**

第9条 市長は、冠の使用を承認した事業が、実施前に第4条第2項の規定に該当することが判明した場合又はそのおそれがあると認めた場合は、荒尾市制施行80周年記念冠使用取消決定通知書(第6号様式)により冠の使用の承認を取り消すことができる。

**(支援の内容)**

第10条 冠使用の承認を受けた者には、下記の支援を行う。

- (1) 第3条に掲げる冠の使用
- (2) 広報あらお、市ホームページ等を活用した事業内容の周知
- (3) のぼり旗の貸し出し

**(冠の使用承認に関する事務)**

第11条 冠の使用承認に関する事務は、荒尾市総務部総合政策課が行うものとする。

附 則

1. この要綱は、令和4年4月1日から施行する。
2. この要綱は、令和5年3月31日限り、その効力を失う。

● 冠事業 ー市主催事業ー ●

**ロアッソ熊本交流事業**

- ◆ 開催日 4月1日(金)～12月31日(土)
- ◆ 会 場 えがお健康スタジアム、市内飲食店 等
- ◆ 主 催 荒尾市生涯学習課

荒尾市は、ロアッソ熊本「火の国もりあげタイ！」プロジェクトの2022年実施自治体となり、5月12日(木)には、ロアッソ熊本の3選手らが浅田市長を表敬訪問されました。その後、選手たちは市立図書館や市内飲食店を訪れ、荒尾の名物グルメを堪能されました。また、8月7日(日)のホームゲームは、「荒尾市タウンデー」として開催され、事前に応募のあった約100名の市民の皆さんを無料招待しました。会場内の飲食ブースでは、本市の特産品を販売したほか、試合前には、市内小学生を対象に、選手たちによるサッカー教室も開催され、子どもたちは大興奮でした。当日は、マジックキー、くまモン、ロアッソくんとのコラボ企画もあり、スタジアムを盛り上げました。



**荒尾干潟ラムサール条約登録10周年記念事業**

- ◆ 開催日 6月1日(水)～7月18日(月)
- ◆ 会 場 荒尾総合文化センター、荒尾干潟水鳥・湿地センター
- ◆ 主 催 荒尾干潟保全・賢明利活用協議会(事務局：環境保全課)

7月3日(日)、荒尾干潟のラムサール条約登録10周年を記念した各種イベントが開催されました。当日は、荒尾総合文化センターにおいて、干潟のポスターコンクールの表彰、有明小学校5年生による干潟の学習発表、有明海の再生をテーマにした福岡大学教授による講演、有明海沿岸部の登録地である佐賀市と鹿島市の関係者をお招きして、今後の干潟保全の取組みについてのパネルディスカッションを行いました。また、荒尾干潟水鳥・湿地センターにおいても、海岸清掃とアサリのつかみ取りイベント、マジックキーを使ったご当地グルメフェアなどを行いました。6月1日(水)から7月18日(月)にかけては、昭和30年代以降の荒尾干潟での漁業や海水浴の様子を展示した写真展を行い、有明海の再生や保全に関する周知啓発を行いました。





● 冠事業 ー市主催事業ー ●

**令和4年度荒尾市みんなでスポーツ**

- ◆ 開催日 6月12日(土)
- ◆ 会 場 荒尾運動公園
- ◆ 主 催 荒尾市スポーツ推進委員協議会（事務局：生涯学習課）

6月12日（土）、荒尾運動公園にて、世代間の交流や市民の健康増進を図ることを目的に、今年度は「ペタンク大会」を実施。小学生以上の市民や市内に勤務されている方を対象に、約100名が参加しました。ペタンクは、フランス発祥のスポーツで、目標球（ビュット）に金属製のボールを投げ合って、相手のボールより近づけることで得点を競うというゲームです。前日に梅雨入りが発表されたため、天候が心配されましたが、当日は天候にも恵まれ、けが人等もなく無事に開催することができました。参加チームは30チームであったため、8コートの総当たりのリーグ戦で順位を決定しました。また、最後にニアピン大会も実施し、大変盛り上がりました。



**世界遺産検定に挑戦！ーもっと明治日本の産業革命遺産を知ろうー**

- ◆ 開催日 6月19日(日)～10月16日(日) 全5日間
- ◆ 会 場 荒尾市立図書館
- ◆ 主 催 荒尾市文化企画課

6月19日（日）から10月16日（日）の毎月第3日曜日に、荒尾市立図書館にて、万田坑を含む「明治日本の産業革命遺産」に対する関心と世界遺産のあるまちに住む市民としての誇りを醸成し、自ら世界遺産をきっかけとしたまちづくりに関わっていくことを促すため、世界遺産検定対策講座を実施し、延べ72名が受講しました。講座の内容としては、世界遺産検定3級受検対策を加え、主に三池エリアを中心に明治日本の産業革命遺産の解説も行いました。本講座を通じて、世界遺産の見方と楽しみ方を学ぶことできた受講者からも好評でした。12月11日（日）には、万田炭鉱館に、世界遺産検定準会場を設定し、15名が受検しました。



● 冠事業 ー市主催事業ー ●

あらお防災フェスタ

- ◆ 開催日 8月28日(日)
- ◆ 会 場 荒尾総合文化センター
- ◆ 主 催 荒尾市防災安全課

8月28日(日)、荒尾総合文化センターにて「あらお防災フェスタ」を開催しました。会場では、「見て、体験して、楽しんで防災」をテーマとして、防災グッズや非常用糧食、防災に関する情報などの『紹介』をはじめ、降雨や煙を『体験』できるコーナーの設置、働く車の『展示』など、市民に防災をより身近に感じてもらう催しを実施したほか、海上自衛隊の音楽隊や市民楽団、荒尾太鼓を迎えての『防災コンサート』を行いました。また、広く防災を啓発するため、動物や魚たちとのふれあいコーナーやキッチンカーの出店、似顔絵コーナー、防災クイズなどを実施しました。今回が初めての取り組みでしたが、当日は約1,500名の来場があり、盛況のうちに終了しました。



令和4年度いきいき健康づくり教室講座

- ◆ 開催日 10月4日(火)～11月22日(火)
- ◆ 会 場 荒尾市医師会館
- ◆ 主 催 荒尾市保健医療福祉推進協議会（事務局：すこやか未来課）

10月4日(火)から11月22日(火)の毎週火曜日に、「保健・医療・福祉」をテーマに、住民の健康と福祉に対する意識の向上を目的とした、健康教育講話を計8回開催し、285名の市民が参加しました。各講座の内容は、下記のとおりです。

(1) からだの中の酸素のはなし (2) 脳卒中にならないために (3) 認知症とその予防～健康寿命を生き生き過ごす～ (4) 歯周病と全身の関係 (5) 体に負担の少ない大腸癌手術の進歩 (6) AED、正しく使えますか？ (7) ①ジェネリック医薬品のメリット・デメリットについて②今日から使える！おくすりの基礎知識 (8) 人は何のために生きているのか～仏様のほほえみ～



● 冠事業 ー市主催事業ー ●

**第17回あらおマジャッキーペタンク大会**

- ◆ 開催日 11月6日(日)
- ◆ 会 場 荒尾運動公園
- ◆ 主 催 荒尾市スポーツ推進委員協議会（事務局：生涯学習課）

11月6日（日）、荒尾運動公園にて、世代間の交流や市民の健康増進を図ることを目的に、ニュースポーツである「ペタンク大会」を実施。小学4年生以上の市民や市内に勤務されている方を対象に、約120名が参加しました。ペタンクは、フランス発祥のスポーツで、目標球（ビュット）に金属製のボールを投げ合って、相手のボールより近づけることで得点を競うというゲームです。当日は11月とは思えないぐらい暖かく、天候にも恵まれ、けが人等もなく無事に開催することができました。参加チームは36チームであったため、9コートの総当たりのリーグ戦で順位を決定しました。また、最後にニアピン大会も実施し、皆さん笑顔で楽しそうにプレーされていました。



**荒尾市健康づくり推進員協議会創立20周年記念事業**

- ◆ 開催日 11月16日(水)
- ◆ 会 場 荒尾総合文化センター
- ◆ 主 催 荒尾市健康づくり推進員協議会（事務局：すこやか未来課）

11月16日（水）、荒尾総合文化センターにて、荒尾市健康づくり推進協議会の創立20周年を記念して、健康づくり推進員や体力アップ体操受講生を含む338名が参加し、記念事業を開催しました。第一部は式典形式で、20年継続受講生や90歳以上の受講生、20年継続推進員等の表彰があり、20年の歩みがよく分かる内容となりました。第二部では、全29会場の体操教室をスクリーンに写真投影しながら、詳しく紹介されました。その後、健康づくり推進員と代表4教室による余興として、踊り「バナナのたたき売り」と「きよしのズンドコ節」、歌と三味線「花笠音頭」、フラダンス「瀬戸の花嫁」が披露され、会場は笑顔いっぱいの楽しい内容となりました。



● 冠事業 ー市主催事業ー ●

### 2022荒尾市人権フェスティバル

- ◆ 開催日 11月28日(月)～12月3日(土) 全6日間
- ◆ 会場 荒尾総合文化センター、ゆめタウンシティモール
- ◆ 主催 荒尾市人権フェスティバル実行委員会（事務局：人権啓発推進室）

12月3日（土）、荒尾総合文化センターにて、コロナ禍で3年ぶりとなる人権フェスティバルが開催され、534名の参加がありました。当日は、「育てよう 一人ひとりの人権意識～思いやりの心 かけがえのない命を大切に～」をテーマに、小鳩幼稚園の園児による遊戯で幕を開け、緑ヶ丘小、清里小、荒尾四中の児童生徒による意見発表では、校内でいじめをしない強い決意が述べられました。その後、戸田俊文講師をお招きし、「ネット社会をかしこく豊かに生きるために」をテーマに、人権問題講演会が開催されました。戸田先生からは、幼い頃からリアルな世界で、たくさんの経験を積むことで想像力が鍛えられ、人の気持ちを思いやれる人間になると熱いメッセージが送られました。フェスティバル期間中は、ゆめタウンシティモールでも人権作品が展示されました。



### スーパーカーマルシェ

- ◆ 開催日 12月4日(日)
- ◆ 会場 荒尾総合文化センター
- ◆ 主催 荒尾市産業振興課

12月4日（日）、荒尾総合文化センターの東側駐車場にて、アフターコロナに向け各地でイベント等が徐々に回復する中、観光閑散期における集客促進及び市内周遊による消費喚起等を目的に、ランボルギーニやマクラーレンなど42台のスーパーカーを展示するイベントを開催し、約3,000名の来場がありました。当日は、市内飲食店を中心に、12店舗によるマルシェの出店もあり、ほぼ全ての店舗で完売となりました。来場者は、20代から50代を中心に、男性が約7割を占め、市内のみならず、九州各県から来場がありました。インスタグラムやフェイスブックの広告を見て来場したという声が多く、SNS広告の有効性が改めて感じ取れるイベントとなりました。



● 冠事業 -民間事業- ●

**第11回荒尾オープン  
小学生ソフトボール大会**

- ◆ 開催日 4月9日(土)・10日(日)
- ◆ 会場 荒尾市ソフトボール場
- ◆ 主催 荒尾市ソフトボール協会

本大会は、市制施行70周年を記念して始まった大会であり、今年で11回目を迎えました。熊本県内をはじめ、福岡県などから20チーム300名が参加して開催。当日は、未来の甲子園球児たちによる手に汗握るプレーが演じられ、選手たちの笑顔もはじけていました。



**第22回九州シニア  
ソフトボール古希荒尾市大会**

- ◆ 開催日 5月18日(水)・19日(木)
- ◆ 会場 荒尾市ソフトボール場
- ◆ 主催 九州シニアソフトボール連盟

健康保持と選手間の親睦を図ることを目的に、九州域内の5県から10チーム約220名が参加して開催。当日は、天候にも恵まれ、年齢を感じさせない白熱のプレーが演じられました。大会は、一人の負傷者もなく、思い出の多い大会となりました。



**第36回荒尾市卓球協会長杯  
卓球大会**

- ◆ 開催日 7月3日(日)
- ◆ 会場 荒尾市民体育館
- ◆ 主催 荒尾市卓球協会

熊本県をはじめ、福岡、佐賀県などから約250名が参加して開催。軽快なラリーや、鋭いサーブで激しい攻防が繰り上げられました。コロナ禍で2年半ぶりの開催となった今回は、高校生から大人まで、全力でプレーを楽しみました。



**第11回荒尾市民体育祭  
水泳競技大会**

- ◆ 開催日 7月10日(日)
- ◆ 会場 荒尾市民プール
- ◆ 主催 荒尾市水泳協会

世代間の交流と水泳人口の増加を図ることを目的に、110名が参加して開催。当日は、幼稚園児から大人まで最後まで諦めずに泳ぎ切りました。最後のリレーは、大変な盛り上がりを見せ、和やかな雰囲気でも終了しました。



● 冠事業 -民間事業- ●

**第1回荒尾オープン  
中学生女子ソフトボール大会**

- ◆ 開催日 8月27日(土)・28日(日)
- ◆ 会場 荒尾市ソフトボール場
- ◆ 主催 荒尾市ソフトボール協会

市制施行80周年を記念し、県内及び近隣の中学生女子チームを対象にした第1回大会を開催。2県から11チーム168名が参加し、優勝を競い合いました。当日は、男子顔負けの白熱のプレーが演じられ、参加者相互の友情を深めていました。



**第5回シャインマスカット杯  
ソフトテニス大会**

- ◆ 開催日 9月11日(日)
- ◆ 会場 荒尾市庭球場
- ◆ 主催 荒尾市ソフトテニス協会

子どもから大人まで年齢制限なく対戦するダブルスの大会で、140名が参加して開催。当日は、男女別に予選リーグ・決勝トーナメントが行われ、さわやかな汗を流しました。入賞者には、荒尾産のシャインマスカットが贈呈され、大変喜ばれました。



**第15回音と光の祭典  
in 宮崎兄弟生家**

- ◆ 開催日 10月1日(土)
- ◆ 会場 宮崎兄弟生家
- ◆ 主催 一小校区元気づくり委員会

校区民の交流を目的に、約700名が参加して開催。当日は、一小の児童による発表や海陽中の吹奏学部による演奏、上小路子ども神楽などが行われました。また、飲み物、駄菓子などの販売を行う滔天マルシェのほか、海陽中茶道部によるお茶会も開かれました。



**第22回熊本県一般吹奏楽団  
合同音楽祭 in 荒尾**

- ◆ 開催日 10月16日(日)
- ◆ 会場 荒尾総合文化センター
- ◆ 主催 熊本県一般吹奏楽団協会

県内から11吹奏楽団の約250名が出演し、個性豊かな演奏を披露。合同演奏もあり、迫力ある音色が450名近い聴衆を魅了しました。また、曲に合わせて趣向を凝らした衣装やダンスで会場を沸かせました。



● 冠事業 —民間事業— ●

**荒尾ジャンボ梨争奪友紀杯  
ソフトテニス大会**

- ◆ 開催日 10月16日(日)
- ◆ 会 場 荒尾市庭球場
- ◆ 主 催 荒尾市ソフトテニス協会

子どもから大人まで年齢制限なく対戦するダブルスの大会で、140名が参加して開催。当日は、男女別に予選リーグ・決勝トーナメントが行われ、熱戦を演じました。会場では、荒尾産のジャンボ梨「新高」の試食会も行われ、参加者を大変喜ばせました。



**第10回荒尾市柔道協会  
親睦柔道大会**

- ◆ 開催日 10月16日(日)・23日(日)
- ◆ 会 場 荒尾市体育センター
- ◆ 主 催 荒尾市柔道協会

県内、福岡県、佐賀県のチームを招待し、幼年から小学生まで150名が参加して個人リーグ戦が実施されました。当日は、館内に勇ましい声が響き渡り、心・技・体が一体となった巧みな技が繰り上げられ、保護者等から熱い歓声が送られました。



**第16回ニッタク祭  
荒尾ラージボール卓球大会**

- ◆ 開催日 12月3日(土)
- ◆ 会 場 荒尾市民体育館
- ◆ 主 催 荒尾市卓球協会

60歳以上の卓球愛好者が参加するラージボールの大会で、県内以外にも福岡県・佐賀県等から約150人が参加。コロナ禍で3年ぶりの開催でしたが、種目としては、男女混合団体戦・男女別個人戦が実施され、大変盛り上がりました。



**荒尾市民楽団864!  
第10回定期演奏会**

- ◆ 開催日 12月25日(日)
- ◆ 会 場 荒尾総合文化センター
- ◆ 主 催 荒尾市民楽団864!

荒尾市イメージソング「風が咲かせる希望のまち」で幕を開け、約80名の演奏者が、余興も交えながら、クリスマスらしい冬の楽曲を披露しました。当日は、地元の小中学校の音楽部や吹奏楽部を交えた合同演奏もあり、270名近い観客も手拍子で盛り上がりました。



● 冠事業 -民間事業- ●

**健康マージャン  
交流会**

- ◆ 開催日 1月29日(日)
- ◆ 会 場 万田炭鉱館
- ◆ 主 催 ありあけ麻雀協会

近隣自治体から16名のプレイヤーが参加し、競技や会話を通じて、世代間の交流を深めました。当日は、荒尾市のマスコットキャラクター「マジャッキー」も登場し、会場を盛り上げました。優勝者には、賞状と盾が贈られ、参加者でその栄光を讃えました。



**荒尾市民病院フットサルチーム  
ユニフォーム作成**

- ◆ チーム名 AR(部員数14名)

荒尾市民病院フットサルチーム「AR」がユニフォームを新調された際に、80周年のロゴマークが使用されました。ユニフォームには、ほかにもマジャッキー、万田坑、荒尾干潟のロゴマークが使用されており、荒尾らしさ満載のユニフォームとなっています。





本市は、昭和 17 年 4 月 1 日に県内で 4 番目に市制を施行し、長い歴史の中で数々の困難を乗り越えて今日まで成長を続け、令和 4 年 4 月 1 日に市制施行 80 周年を迎えました。この記念すべき節目の年を、市民全体で祝うことを主な目的として、市主催の事業から、市民の皆さんや市民団体等が実施する事業まで、あわせて 37 の事業が市制施行 80 周年記念事業として実施されました。多数の行事やイベントを通じて、先人たちの功績に感謝しながら、荒尾市の“80 歳”を市民全体で祝うことができました。

令和 4 年度の荒尾市を振り返りますと、新型コロナウイルス感染拡大の影響が長引く中においても、新市立図書館や新学校給食センターのオープンなど、嬉しいニュースがありました。令和 2 年 3 月に策定した「第 6 次荒尾市総合計画」では、本市の将来像を『人がつながり幸せをつくる 快適未来都市』と定め、少子高齢化等による人口の減少が予想される中にあっても、子育てや教育環境の充実、先進的で持続可能なまちづくりといった各種施策を盛り込んだ「あらお未来プロジェクト」を総合的に取り組んでいます。とりわけ、スマートシティの推進やデジタル技術の活用など、子どもから高齢者まで誰一人取り残さない「全世代型デジタル社会」の構築を進めるとともに、脱炭素の分野においても、2050 年までに本市から排出される温室効果ガスを実質ゼロにすることを目指すなど、次世代に向けた社会的な課題解決の実現に取り組んでいます。

また、本市には、世界文化遺産に登録された「万田坑」をはじめ、単一干潟では日本最大級の干潟面積を誇り、日本国内で有数の渡り鳥の飛来地である「荒尾干潟（ラムサール条約湿地）」のほか、アトラクション数日本一の「グリーンランド」、宮崎兄弟と孫文との友情の絆に触れることができる「宮崎兄弟の生家」、国の伝統的工芸品に指定された「小代焼」、甘くて美味しい「荒尾梨」など、世界に誇れる地域資源がたくさんあります。

今後も本市は熊本県の北の玄関口として、まちが歩んできた歴史を再認識するとともに、今ある地域資源を最大限に活かしながら、新時代に向けた施策にも積極的にチャレンジし、住みやすく幸せを実感できる魅力あるまちづくりに取り組んでいかなければなりません。この 80 年で培った経験を市全体に波及させて、将来の発展を目指し、これからも荒尾市は「暮らしたいまち 日本一」の実現のため歩み続けます。

次の 90 周年へ、夢と希望をつなぎながら…

荒尾市制施行 80 周年記念事業事務局

## 80周年記念事業に係る経費支出状況

### ● 市事業 ●

単位:円

事業の種類	事業名	金額
記念式典	荒尾市制施行80周年記念式典	3,042,868
図書館整備事業	新図書館開館(オープニングセレモニー)	495,000
スポーツ交流事業	荒尾市出身トップアスリート交流事業	2,197,327
文化・国際交流事業	荒尾市・シンガポール国際交流事業	130,350
	新図書館開館記念イベント	1,000,000
	市制80周年デジタル写真館	0
その他の事業	景観発見事業～わくわく熱気球体験～	231,000
	学校給食試食会	0
	オリジナル記念切手販売	0
	記念マイナンバーカードケースの配付	260,000
	記念PR看板の設置	529,100
	出張、私は未来の報道記者	0
	80文字で伝える 荒尾市への感謝の言葉	0



80周年記念事業費総額 7,885,645円

市民全体で祝う「荒尾市制施行 80 周年記念事業」を検討するにあたり、令和 3 年 5 月に若手及び中堅の市職員(16 名)を委員とする「荒尾市制施行 80 周年記念事業プロジェクトチーム」を設置し、記念事業の全体構想、事業の詳細内容について検討しました。

◆ 所掌事務

1. 全体構想(案)の策定
2. 市制施行 80 周年記念市事業の検討
3. 市制施行 80 周年記念冠事業(市主催事業・民間事業)について
4. 市制施行 80 周年記念事業のロゴマーク・キャッチフレーズについて
5. 役割分担の検討
6. その他

◆ プロジェクトチーム委員一覧(16 名)

所 属 課	氏 名	備 考
総合政策課	田川 秀樹	チームリーダー
総合政策課	吉光 周平	
文化企画課	藤木 沙衣	
環境保全課	竹下 将明	
くらしいきいき課	富重 祐一郎	
福祉課	境木 唯	
子育て支援課	田中 彰	
産業振興課	緒環 良	
都市計画課	前畑 智紀	
教育振興課	諸富 友木	
生涯学習課	土橋 大成	
税務課	橋本 道子	女性職員シンクタンク
議会事務局	峰 麻里子	女性職員シンクタンク
総合政策課	奥村 猛	事務局
総合政策課	丸本 真由子	事務局
総合政策課	伊藤 信也	事務局

※設置期間：令和 3 年 5 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

◆ プロジェクトチーム設置期間

令和 3 年 5 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

◆ プロジェクトチーム検討会議開催内容

－第 1 回－ [令和 3 年 5 月 17 日（月）開催]

- ・ 記念事業の基本方針について
- ・ 今後のスケジュールについて

－第 2 回－ [令和 3 年 6 月 22 日（火）開催]

- ・ 記念式典の内容検討
- ・ ロゴマークおよびキャッチフレーズの公募について

－第 3 回－ [令和 3 年 7 月 21 日（水）開催]

- ・ 記念事業の内容検討
- ・ 記念式典（案）について

－第 4 回－ [令和 3 年 9 月 22 日（金）開催]

- ・ 記念事業（案）および記念事業スケジュールについて
- ・ ロゴマーク（案）およびキャッチフレーズ（案）について

◆ 行政経営会議付議内容

① [令和 3 年 3 月 25 日（木）開催 3 月期定例行政経営会議にて付議]

- ・ 記念事業の実施方針（案）について
- ・ プロジェクトチームの設置について

② [令和 3 年 9 月 29 日（水）開催 9 月期定例行政経営会議にて付議]

- ・ 記念事業の実施内容（案）について

◆ 行政経営会議報告内容

[令和 5 年 3 月 22 日（水）開催 3 月期定例行政経営会議にて報告]

- ・ 記念事業の事業報告について



令和5年3月  
荒尾市 総合政策課